

学習行動調査報告（2023年度）

調査概要

- ・学生の学習に関するレディネスや大学生活への適応を把握する調査。
- ・主に2020-2023年度学習行動調査の比較から、その動向を把握・検討する。
※2023年度は臨時項目として教育DX（電子教科書やPCの活用）に関する項目を追加している。
- ・実施期間：2023年7月17日～9月24日
- ・調査対象：2023年度1～4年生

基礎集計

- ・2023年度の回答者
 - ・有効回答者：1044名
 - ・回答率：83.6%（在籍者1249名）

- ・学科×学年別回答者数

学科	学年				合計
	1年生	2年生	3年生	4年生	
看護学科	87	88	107	83	365
理学療法学科	110	115	102	100	427
作業療法学科	41	38	28	42	149
臨床工学科	16	20	44	23	103
合計	254	261	281	248	1044

- ・変数ごとの基本統計量（2023年度調査）

変数名	有効N	平均値	中央値	標準偏差	分散	最小値	最大値
成長的マインドセット	1044	3.79	4.00	0.89	0.78	1.00	6.00
自己効力感	1044	3.26	3.33	0.87	0.76	1.00	6.00
内発的動機づけ	1044	3.61	3.67	0.88	0.77	1.00	6.00
外発的動機づけ	1044	4.01	4.00	0.91	0.83	1.00	6.00
メタ認知	1031	3.99	4.00	0.75	0.56	1.00	6.00
主体的学習態度	1024	4.08	4.00	0.71	0.50	1.00	6.00
エージェンシー	1027	3.74	4.00	0.78	0.61	1.00	6.00
適応（友人）	1022	4.53	4.67	1.04	1.07	1.00	6.00
適応（授業）	1022	3.98	4.00	0.91	0.82	1.00	6.00
適応（大学）	1021	3.81	4.00	1.01	1.03	1.00	6.00
適応（教員）	1022	4.11	4.00	1.03	1.07	1.00	6.00
全体的に見て学生生活は充実している。	1017	4.22	4.00	1.11	1.23	1.00	6.00
もし大学を選びなおせたら、またこの大学にもう一度進学したい。	1018	3.58	4.00	1.30	1.69	1.00	6.00
授業外学習時間	1023	3.57	3.00	4.55	20.73	0.00	50.00
授業外読書時間	1023	0.94	0.00	2.56	6.54	0.00	30.00
アルバイト時間	1023	10.07	10.00	7.69	59.11	0.00	45.00

・調査項目と構成概念

調査項目（学習関連）	構成概念
自分の才能は、生まれながらに決まったものではなく、伸ばすことができる。	成長的マインドセット
私の考えでは、才能というものは変えることができるものだと思う。	
学習によって、新しいことがらを学ぶだけでなく、才能も変えていくことができる。	
自分は良い成績をとれる人間だと思う。	自己効力感
授業で示される教材が難しくてもしっかりと理解できると思う。	
授業を通して自分はいまよく学習をすすめられると思う。	
新しいことを学ぶように、一段階上へチャレンジさせてくれるような教材を好む。	内発的動機づけ
たとえ難しくても、好奇心をくすぐるような教材を好む。	
良い成績が取れるという保証がなくても、学べることが多い課題を選ぶ。	
現在自分が授業で求めていることはいい成績を取ることだ。	外発的動機づけ
それぞれの科目でいい成績を取ることにもっとも関心がある。	
できるなら他の生徒よりも良い成績を取りたい。	
勉強のやり方が、自分に合っているかどうかを考えながら勉強する。	メタ認知
勉強でわからないところがあったら、勉強のやり方をいろいろ変えてみる。	
勉強しているときに、やった内容を覚えているかどうかを確認する。	
勉強するときは、最初に計画を立ててから始めている。	
勉強するときは、自分で決めた計画にそってこなす。	
勉強する前に、これから何をどうやって勉強するかを考える。	
勉強する時、過去に上手くいったやり方を試みている。	主体的学習態度
課されたレポートや課題を少しでも良いものに仕上げようと努力する。	
授業には意欲的に取り組む。	
授業はただぼうっと聞いている。（反転）	エージェンシー
学習をするうえで自分の目標を決めることができている。	
学習したことを次の活動のために振り返っている。	
学習したことを活かして、責任をもって活動したり、何かを決めたり選んだりしている。	

調査項目（適応関連）	構成概念
この大学には、よい友だちがたくさんいると思う。	適応（友人）
この大学の友達と一緒にいると楽しい。	
この大学の友達とは何でも話すことができると思う。	
この大学の授業を受けるのは楽しい。	適応（授業）
この大学の授業ではやる気がわいてくる。	
この大学では一生懸命授業を受けたいと思う。	
この大学の学生であることを誇りに思う。	適応（大学）
この大学の学生であることがうれしい。	
この大学の学生であることを、強く意識している。	
この大学の教員には安心して相談できると思う。	適応（教員）
この大学では教員と気軽に話ができると思う。	
この大学の教員に対して親しみを感ずる。	

分析結果の概要

【特徴的な変化がみられる項目に関して】

・主体的学習態度

主体的学習態度の得点が年々有意に減少している。これは学科や学年によらず、全学的な傾向として考えられる。

・授業外学習時間、アルバイト時間

授業外学習時間が減少を続けており、それと反してアルバイト時間が年々増加している。両項目の平均を足すと毎年13.5時間程度となっており、授業外学習の時間を減らした分をアルバイトの時間に費やしていることが推察される。2021-2022年度に実施した学習行動調査では、学生のアルバイト状況について追加質問をしているが、「必要な生活費以上のお金を稼げている」との回答率が20.8%から24.8%へ増加している。一方「必要な生活費を稼げていない」との回答(13.1%)も存在する点に留意したい。

【臨時項目等に関して】

・電子教科書の希望について

現状では、電子媒体の教科書(24.2%)よりも、紙媒体の教科書(39.7%)を望む声が多いが、これに関しては、PCの所有状況や活用状況をふまえた検討が必要と思われる。

・PCの所有状況について

全学的なノート型PCの所有率は83.3%であるが、2年生のみ75.6%と比較的低い値になっている。また、1年生でも調査時期(7~9月)には既に87.4%の所有率となっている。一方、ノート型PCを所有していない学生も全体で16.7%存在する。

・PCの活用状況について

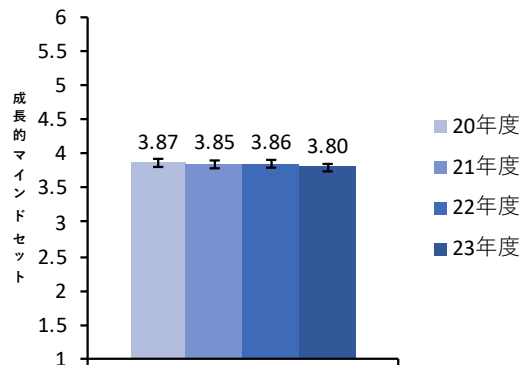
「ノート型PCを持っている」と回答した学生に対し、大学の授業や学習に関するその活用状況を確認したところ、週に1日未満の学生が過半数(53.5%)であった。また、3年生や4年生の高学年で活用頻度が高くなっているが、週に1日以上活用している学生は2年生より1年生の方が多い。

加えて、他の学習行動に関する項目との関係をみたところ、PCを活用している学生はそうでない学生に比べ、主体的学習態度やエージェンシー、授業外学習時間に関して高い数値を、アルバイト時間に関して低い値を示す傾向がみられた。また、PCの活用に関する自由記述の回答では、レポートや課題でPCを活用している一方、“PCを活用する必要がない授業”が多いため、使用機会が少なく活用していないとの回答が多くみられた。

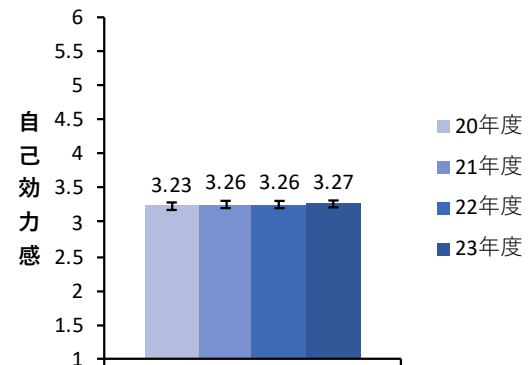
分析結果（大学全体）

※特に記載のない場合は6件法（6が肯定的で1~6点に換算）、エラーバーは95%信頼区間を示す。

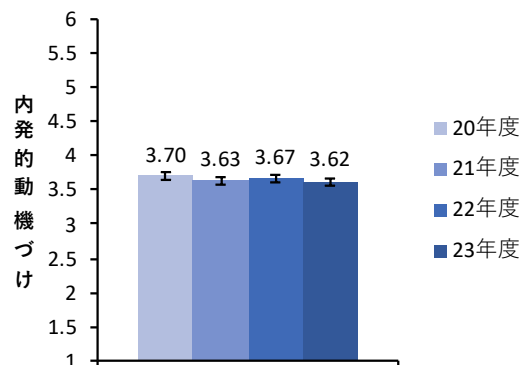
・成長的マインドセット



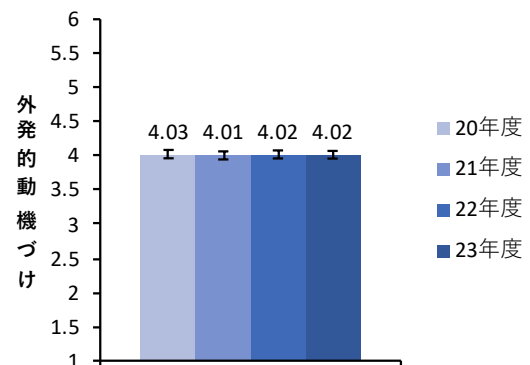
・自己効力感



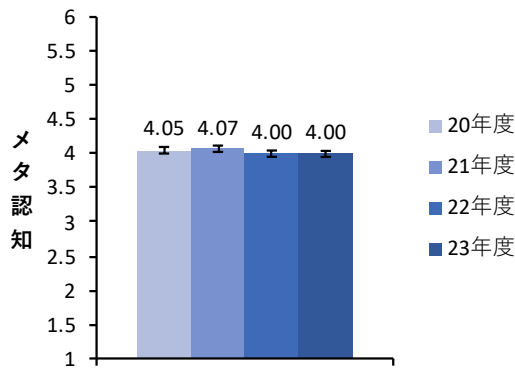
・内発的動機づけ



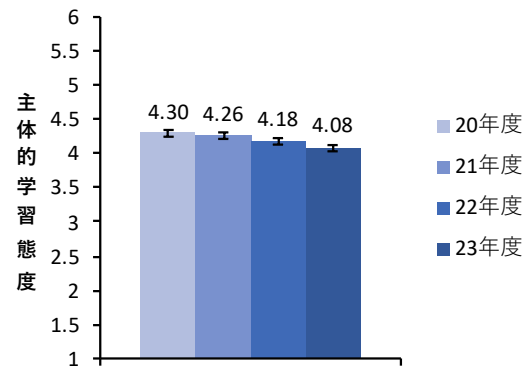
・外発的動機づけ



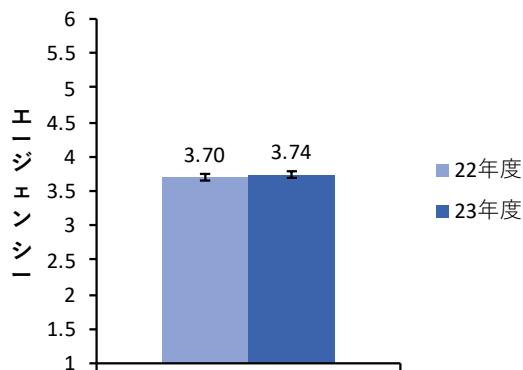
・メタ認知



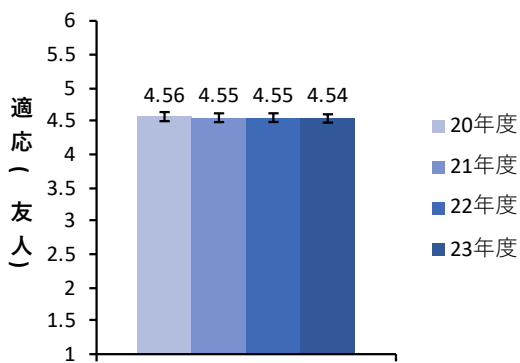
・主体的学習態度



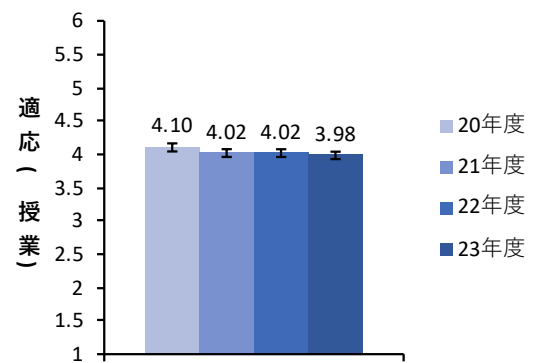
・エージェンシー ※22年度追加項目



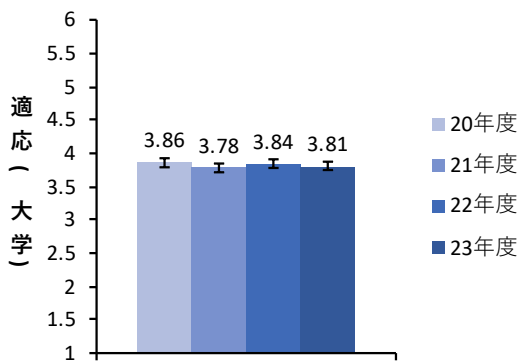
・適応（友人）



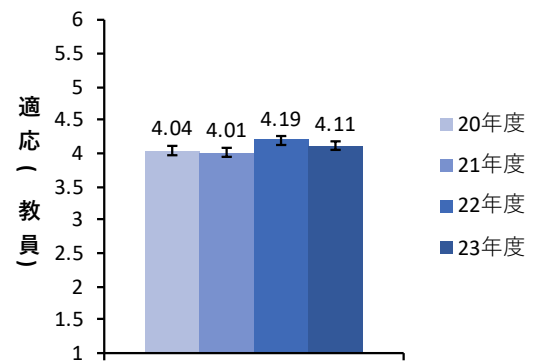
・適応（授業）



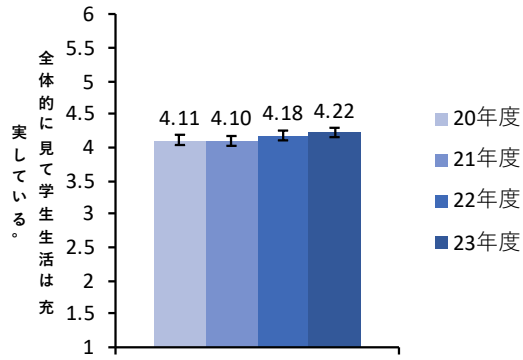
・適応（大学）



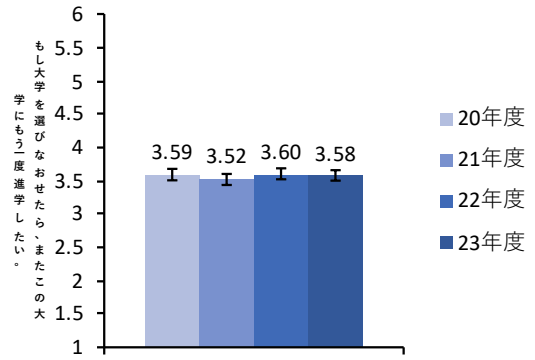
・適応（教員）



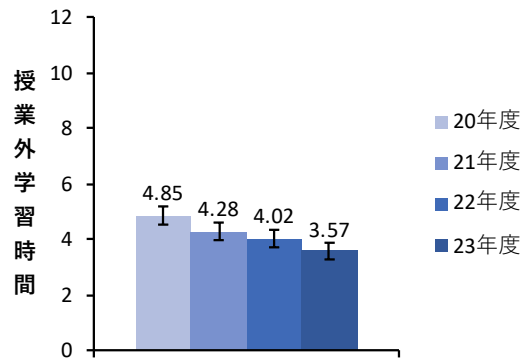
・全体的に見て学生生活は充実している。



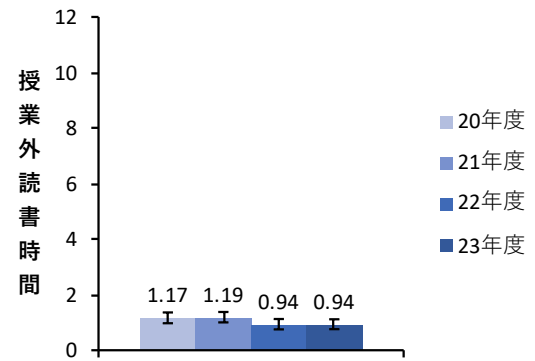
・もし大学を選びなおせたら、またこの大学に…



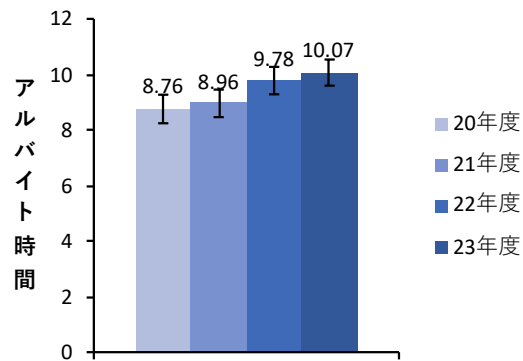
・授業外学習時間 ※週の平均時間を入力



・授業外読書時間 ※週の平均時間を入力



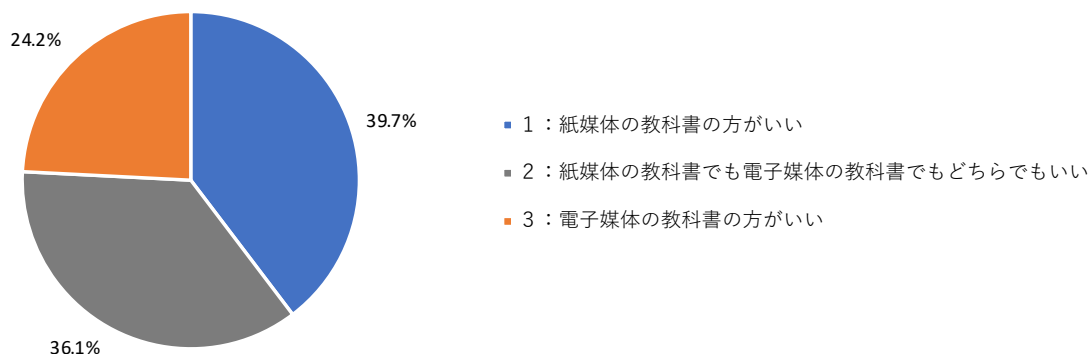
・アルバイト時間 ※週の平均時間を入力



・電子教科書の希望

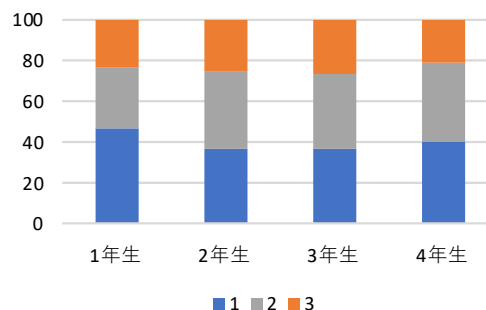
設問内容：大学の授業で使う教科書について、あなたは学習する上で、紙媒体の教科書の方がいいと思いますか、それとも電子媒体の教科書の方がいいと思いますか。なお、教科書代の定価は変わらないものとして考えてください

大学全体の割合



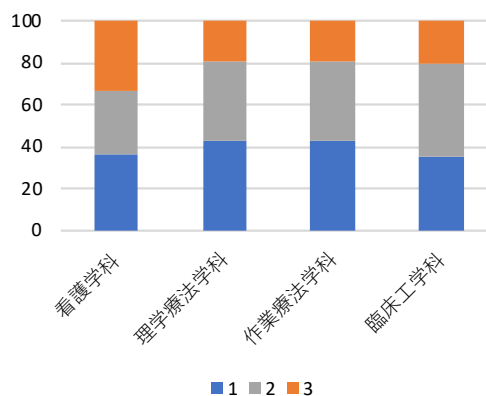
学年別の割合（行ごとの比率%）

	電子教科書の希望			合計
	1	2	3	
1年生	46.2	30.8	23.1	100
2年生	36.4	38.0	25.6	100
3年生	36.3	37.1	26.6	100
4年生	40.2	38.6	21.1	100
合計	39.7	36.1	24.2	100



学科別の割合（行ごとの比率%）

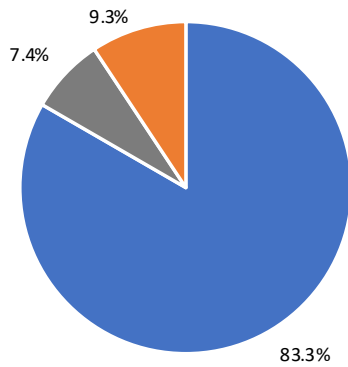
	電子教科書の希望			合計
	1	2	3	
看護学科	36.3	30.6	33.1	100
理学療法学科	42.6	37.9	19.4	100
作業療法学科	42.4	38.2	19.4	100
臨床工学科	35.0	45.0	20.0	100
合計	39.7	36.1	24.2	100



・PC所有状況

設問内容：あなたは、自分のノート型PCを持っていますか。

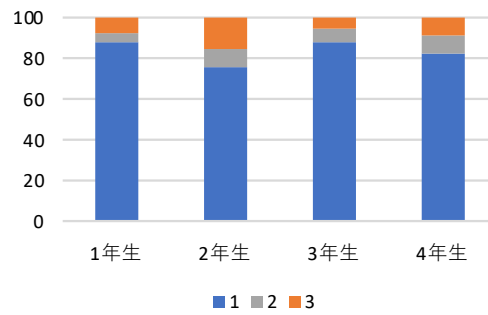
大学全体の割合



- 1：ノート型PCを持っている
- 2：ノート型PCは持っていないが、iPad等のタブレット端末は持っている
- 3：ノート型PCもiPad等のタブレット端末も持っていない

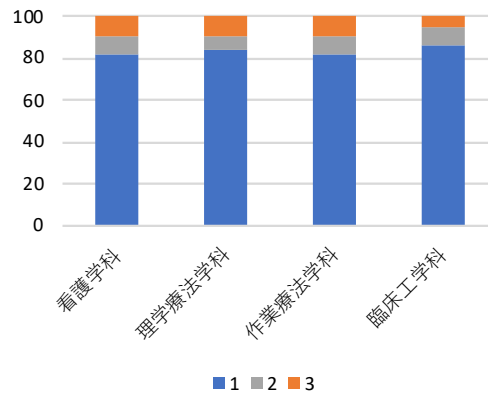
学年別の割合（行ごとの比率%）

	PCの所有状況			合計
	1	2	3	
1年生	87.4	4.5	8.1	100
2年生	75.6	8.8	15.6	100
3年生	87.4	7.6	5.1	100
4年生	82.5	8.5	8.9	100
合計	83.3	7.4	9.3	100



学科別の割合（行ごとの比率%）

	PCの所有状況			合計
	1	2	3	
看護学科	82.0	8.3	9.7	100
理学療法学科	84.3	5.9	9.9	100
作業療法学科	81.9	8.3	9.7	100
臨床工学科	86.0	9.0	5.0	100
合計	83.3	7.4	9.3	100

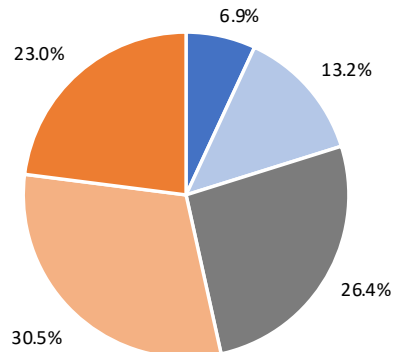


・PC活用状況

設問内容：ノート型PCを実際にどの程度、大学の授業や学習に活用していますか。

※一つ前の質問で「1：ノート型PCを持っている」と回答した学生のみ回答。

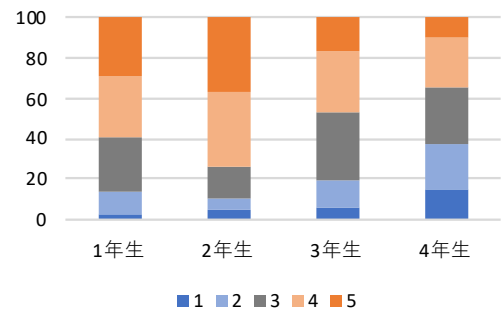
大学全体の割合



- 1：大学の授業や学習で週に5日以上活用している
- 2：大学の授業や学習で週に3～4日程度活用している
- 3：大学の授業や学習で週に1～2日程度活用している
- 4：大学の授業や学習に活用しない週もある
- 5：大学の授業や学習にほとんど活用していない

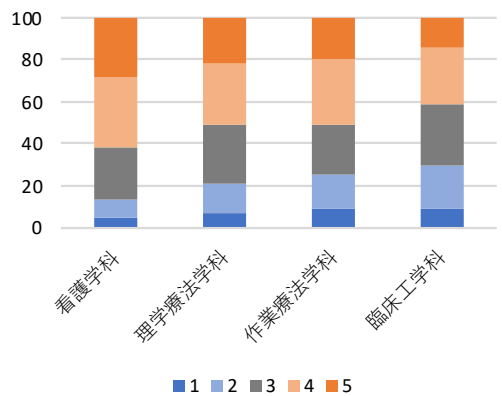
学年別の割合（行ごとの比率%）

	PCの活用状況					合計
	1	2	3	4	5	
1年生	2.3	11.1	26.9	30.6	29.2	100
2年生	4.7	6.3	14.7	37.7	36.6	100
3年生	6.2	13.2	33.7	29.6	17.3	100
4年生	14.8	22.2	28.1	24.6	10.3	100
合計	6.9	13.2	26.4	30.5	23.0	100



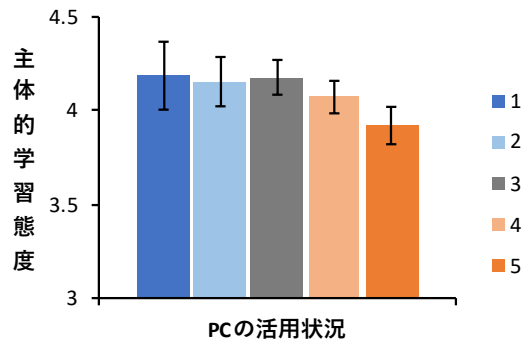
学科別の割合（行ごとの比率%）

	PCの活用状況					合計
	1	2	3	4	5	
看護学科	4.5	9.4	24.1	33.9	28.0	100
理学療法学科	7.5	13.3	28.5	28.5	22.2	100
作業療法学科	9.2	16.7	23.3	30.8	20.0	100
臨床工学科	9.3	20.9	29.1	26.7	14.0	100
合計	6.9	13.2	26.4	30.5	23.0	100



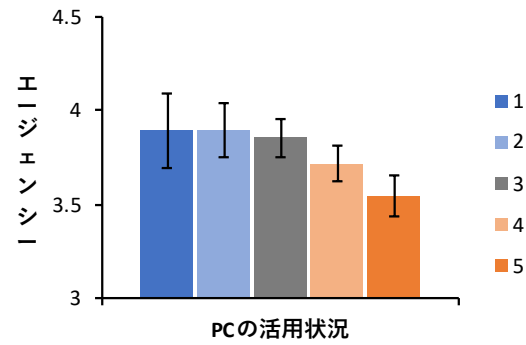
・PC活用状況×主体的学習態度

※関係がみやすいように縦軸を調整

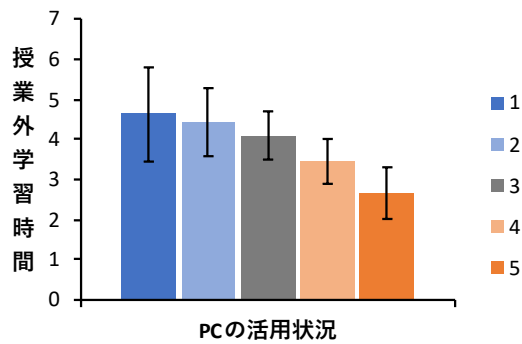


・PC活用状況×エンジェンシー

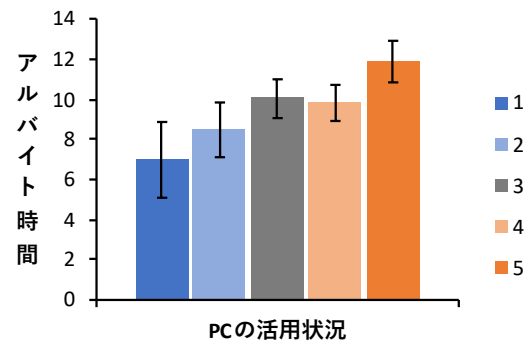
※関係がみやすいように縦軸を調整



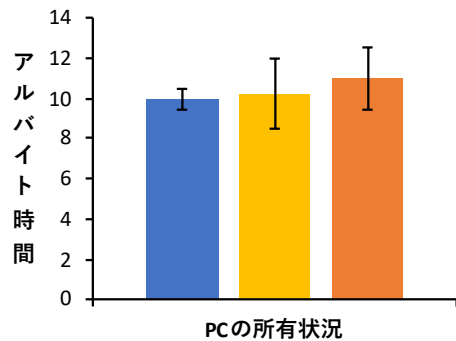
・PC活用状況×授業外学習時間



・PC活用状況×アルバイト時間



・PC所有状況×アルバイト時間



- 1 : ノート型PCを持っている
- 2 : ノート型PCは持っていないが、iPad等のタブレット端末は持っている
- 3 : ノート型PCもiPad等のタブレット端末も持っていない

・アルバイト状況について (2021-2022年度調査結果からそれぞれの選択率を記載)

